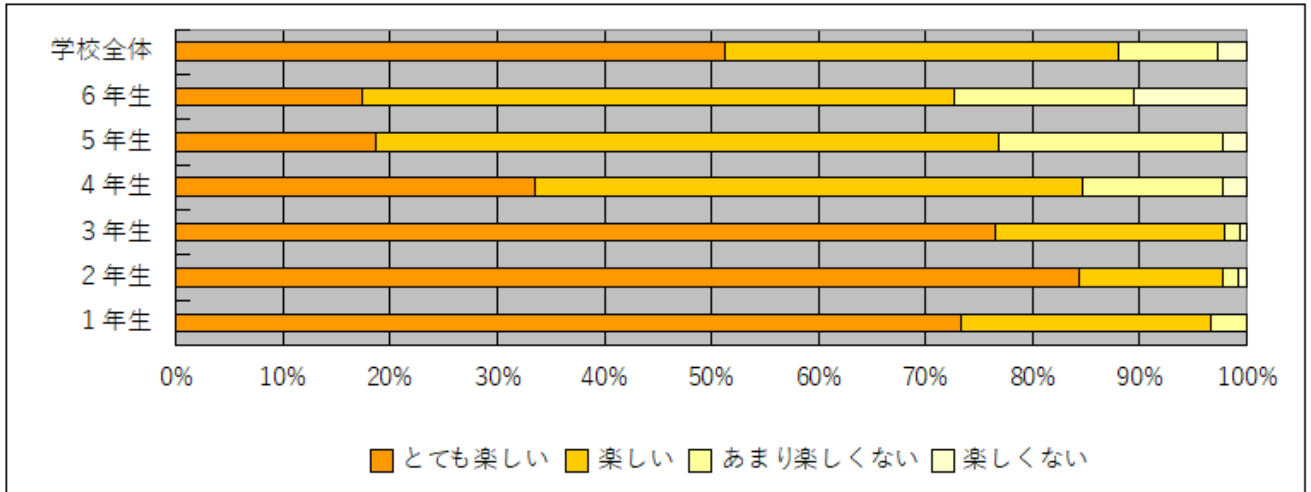


外国語科に関するアンケート調査結果

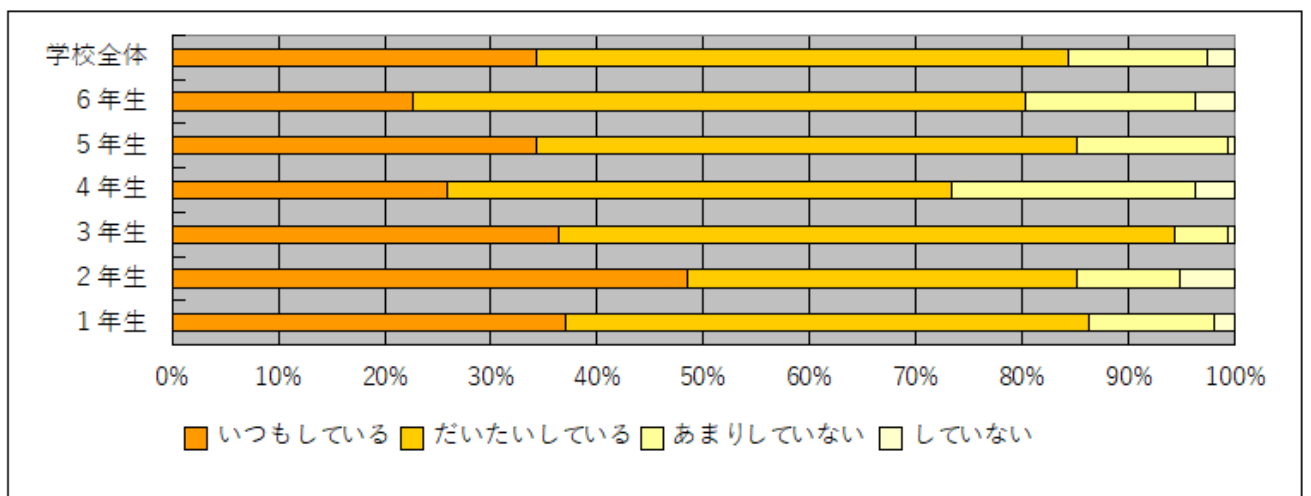
【児童へのアンケート結果から】

1.外国語科の授業は楽しいですか。



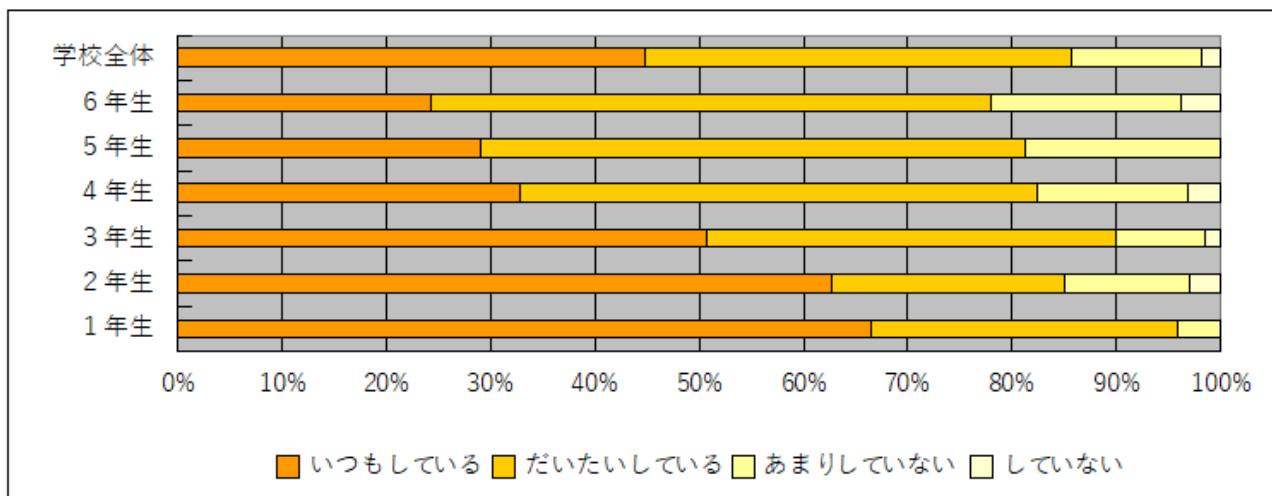
学校全体の約90%の児童が外国語科の授業が楽しい（とても楽しい・楽しい）と答えている。特に1～3年生は「とても楽しい」と答えている児童の割合が7割を超えている。高学年になるにつれて楽しいと感じる児童が少なくなる傾向にある。低中学年では、主にゲームや歌などを使った活動が主であるが、高学年は伝え合う活動が主になっていくことから減少しているのではないかと考えられる。伝え合う活動で知的な楽しさを感じることも楽しさであることを児童に体感させる工夫が必要である。

2.相手に伝わりやすいようにはっきりした大きさの声で話すことを心がけていますか。



学校全体の約80%がしている（いつもしている・だいたいしている）と答えている。ペアトークやグループトーク、発表など、必要な場面では事前に全体で確認をするため意識をして話している児童が多い。しかしながら、全体での発表となると恥ずかしさや自信のなさから声が小さくなる実態がある。ペアやグループの活動で自信をつけて全体での発表につなげられるようにしたい。

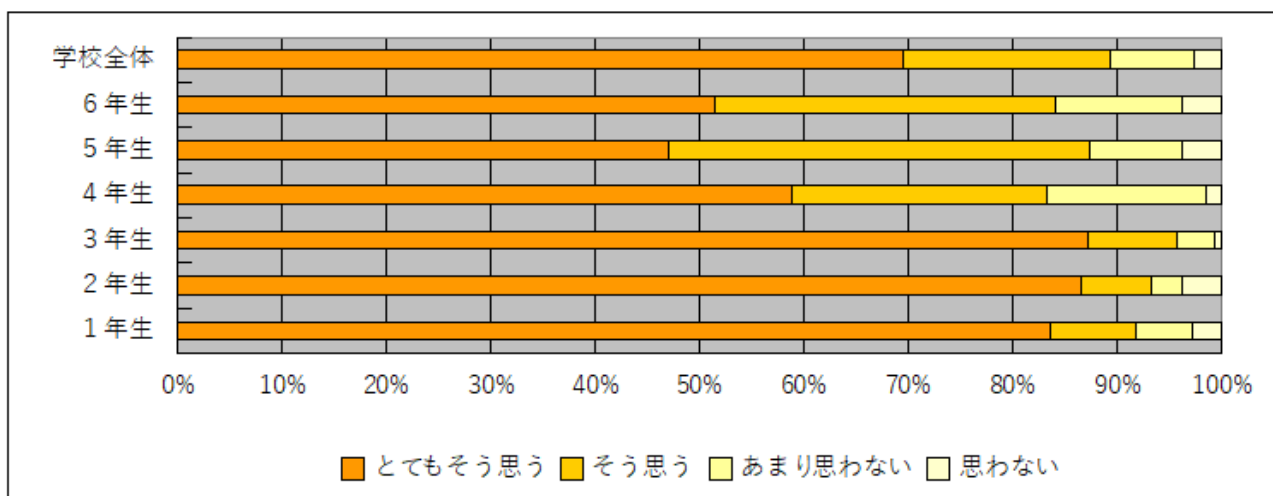
3.相手の目を見ながら会話することを心がけていますか。



学校全体の80%以上の児童が、相手の目を見ながら会話することを心がけている（いつもしている・だいたいしている）と答えている。

ペアトークやグループワーク、発表の前に、相手意識を確認することで目を見て話すことを意識している児童が多い。高学年になるにつれて内容が難しくなるため、伝え合う活動で使用するワークシートを見ながら話してしまう実態もあるが、そのことに気付かせる声かけをすることで相手を見て話そうと調整する姿も増えてきた。5・6年は、前年度の結果よりも相手の目を見ながら会話することを心がけている（いつもしている・だいたいしている）が少し増加している。

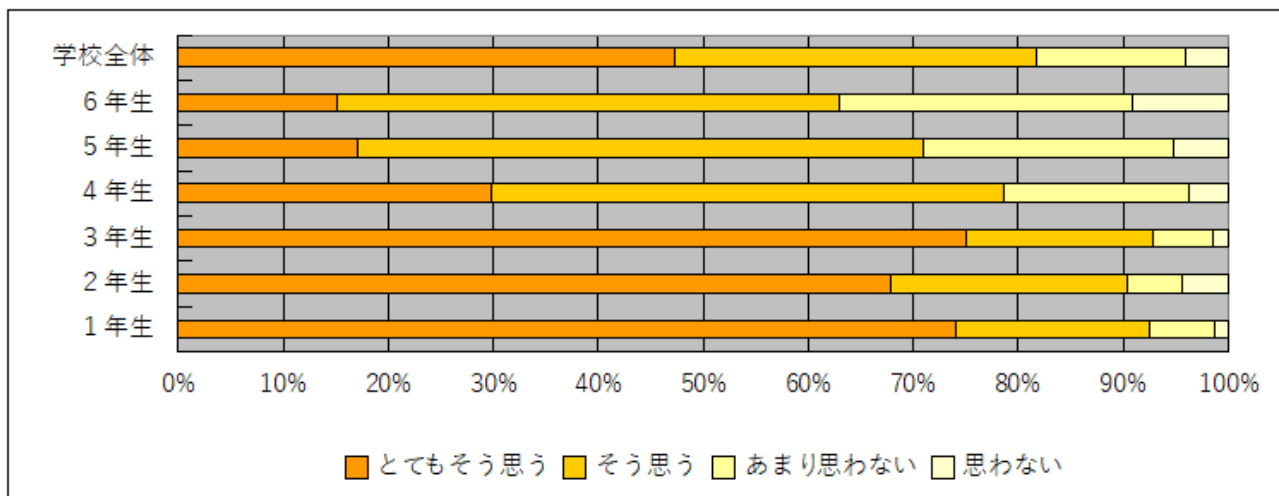
4.もっと英語が話せるようになりたいですか。



学校全体の約90%の児童がもっと話せるようになりたい（とてもそう思う・そう思う）と答えている。

1・2年生ではゲームや歌を通して英語に慣れ親しみ英語単語を言ってみるという活動を、3・4年生ではコミュニケーションタイムというペアで前時の既習表現を使って話してみる活動を、5・6年生ではスモールトークという英語のやり取りを聞いて内容について考えてからペアで既習表現を使って話す活動を行っている。そこでは、生き生きと英語を使って話そうとする児童の姿が見られる。得意・好きと感じている児童はもちろん、苦手・嫌いという児童も「話すのは嫌いだけど、話せるようになりたい」と、話せるようになりたい気持ちを持っている。

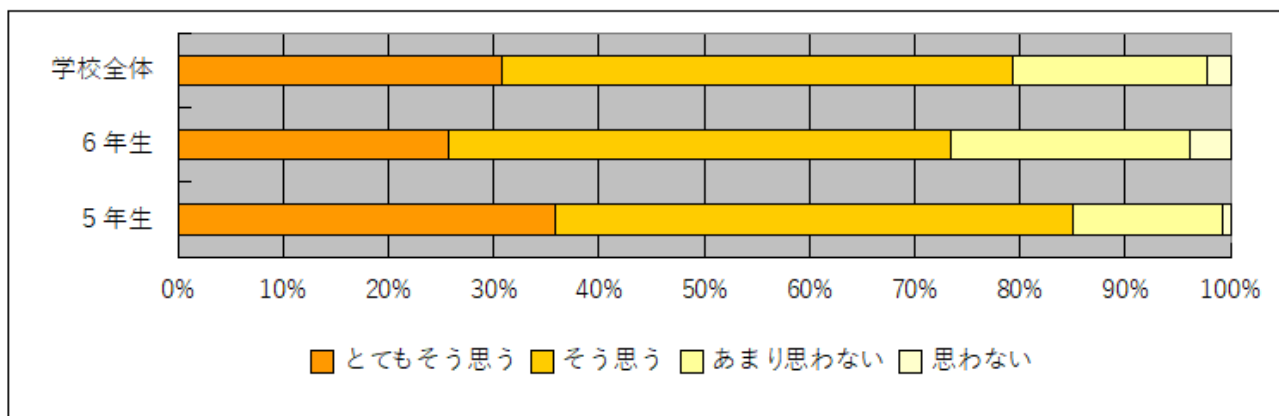
5.外国語科の授業は好きですか。



学校全体の80%以上の児童が好き（とてもそう思う・そう思う）と答えている。ゲームや歌、チャンツなど、様々な表現活動を取り入れながら英語に親しんだり、友達と伝え合ったりする活動に楽しさを感じ、好きだと感じていると考えられる。

高学年になると内容も難しくなり、話すこと聞くことだけでなく書くことや読むことも少しずつ入ってくるため苦手さを感じる児童が増えていると考えられる。中学年から高学年にかけてもゲームや歌を取り入れながら、児童が楽しい・わかると感じる授業づくりの工夫をしていく必要がある。

6.外国語科の授業はわかりますか。(5・6年のみ)



学校全体の約80%の児童が授業がわかる（とてもそう思う・思う）と答えている。5・6年になり内容が難しくなることから、ゲームを取り入れて表現や語句に慣れ親しむ活動をしたり、児童が興味をもつ話題や人物を扱うなどして理解しやすいようにするなど授業づくりの工夫を図ってきた。

しかしながら、約20%の児童がわからない（あまり思わない・思わない）と答えている。伝え合う活動では、絵カードやジェスチャーなどの視覚的な情報を与えながら英語での指示やデモンストレーションを行う。そこでの難しさに対して、理解しやすいように工夫が必要であった。この結果を真摯に受け止め、次年度の授業作りに生かしていきたい。

【学校関係者・保護者からの意見】

- ・学校で学習したことから関心が高まり、学校以外でも学習したいという意欲の向上が見られた。
- ・授業で学習した英語を兄弟に話したり教えたりして、楽しむ様子が見られた。
- ・音楽で、英語の歌に興味を持って歌いたいというようになりました。
- ・Good morning! Hello. See you. Thank you.などの挨拶を友達や家族に英語で言う姿を見かけるようになりました。